

# 市町村体力向上アクションプラン(令和2年度版)

教委名	姫島村		教育委員会	
作成者	職	学校教育課長	氏名	岸本 誠司
	所属	姫島村教育委員会	TEL	0978(87)2112

## 1 体力の状況

ア 平成31年(令和元年)度体力・運動能力等調査結果 (県調査) ※○は全国平均より上

		握力	上体起こし	長座前屈	反復横跳	シャトル	50m走	立ち幅跳	ボール投	評価	
										D層	E層
小学校	1年 男			○	○			○	○	0	1
	1年 女			○	○			○	○	0	0
	2年 男		○	○			○	○	○	1	0
	2年 女		○	○		○		○	○	0	0
	3年 男		○	○	○		○	○	○	0	0
	3年 女		○	○	○		○	○	○	0	0
中学校	4年 男	○		○	○		○	○	○	1	0
	4年 女			○	○		○	○	○	1	0
	5年 男		○	○			○	○	○	1	0
	5年 女		○	○	○	○	○	○	○	0	1
	6年 男		○	○			○	○	○	0	1
	6年 女		○	○	○	○	○	○	○	0	0
中学校	1年 男	○	○		○	○	○	○	○	1	0
	1年 女	○			○	○	○	○	○	0	0
	2年 男		○		○	○	○	○	○	2	0
	2年 女				○	○			○		0
	3年 男		○		○					2	0
	3年 女	○			○					0	1

イ 平成31年(令和元年)度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

○ 総合評価C以上の児童生徒の割合

	男子	女子		男子	女子		全児童生徒
小学校	86	97	中学校	77	90	小中学校	88

○ 児童生徒・学校質問紙調査結果

- 「運動の愛好度」は、小中あわせて「好き」「やや好き」が91%、「やや嫌い」「きらい」が9%である。
- 「朝食」は、小中あわせて「毎日食べる」が87%、「時々欠かす」9.5%である。
- 「睡眠時間」は、小中あわせて「8時間未満」が49%、「早寝」は「決めて寝ていない」が14%である。
- 「1日のテレビ・ゲーム等の時間」は、小中あわせて「2時間以上」が18%、「3時間以上」が13%である。

ウ 姫島村の児童生徒の特徴的な様子

- 社会体育は、「野球」「バレーボール」「テニス」と限られているが、熱心に取り組んでいる。
- 「運動は大切」とであると認識しているが、「体力・運動能力に自信がない」女子児童生徒が多い傾向にある。
- 社会体育に所属・未所属、徒歩通学とバス通学等の影響もあり、運動量・運動意識・運動能力が2極化の傾向にある。
- 情報端末機器類の児童生徒の所持率が高く、使用時間の長い児童生徒がいる。

## 2 平成31年(令和元年)度の取組の検証

平成31年(令和元年)度の指標	達成状況・成果等
<b>達成指標</b> ○ 体力・運動能力調査で、C層の児童・生徒を、92%(H30年度91%)以上にする。	・C層以上の児童・生徒は、H27年度(84%)→H28年度(87%)→H29年度(91%)→H30年度(91%)→H31年度(88%)であり、指標を達成できなかった。
<b>達成指標</b> ○ 「運動やスポーツが好き」な児童・生徒を各校男女とも90%(小学生男子100%・女子93%・中学生男子91%・女子78%)以上にする。	・小学生男子95%・女子83%、中学生男子96%・女子80%であった。小中ともに女子が指標を達成できなかった。
<b>取組指標1</b> ○ 体育専科教員(小学校)を活用した授業改善と体力向上プランの実施、くにさき地区教育研究会(中学校)を活用した授業改善を推進し、気力・体力・集団力の向上を図る。	・小学校では、専科教員の専門性を生かし、体力向上に向けた取組を進めることができ、児童の体力向上につながった。中学校では、保体部会を活用した授業改善を推進できた。
<b>取組指標2</b> ○ 小中連携体力向上部会を年間6回以上開催するとともに、小中の継続的な年間指導計画の活用・実践を推進する。	・小中連携体力向上部会を、年間6回以上の開催予定である。今後、小中の体育主任を中心として、新教育課程を意識しながら、小中9年間を見越した年間指導計画を見直し改善させていく。
<b>取組指標3</b> ○ 「かっこチェックカード」(小学校)「めざせ！バランス朝ご飯パーフェクト2020」(中学校)を活用し、望ましい生活習慣の確立に向け、学期1回は保護者への啓発を図り、連携した取組を推進する。	・小中学校ともに「カード」を活用し、保護者への啓発と連携した取組を推進できた。 ・小学校・中学校ともに「ネットモラル」についての研修会を開催した。
<b>取組指標4</b> ○ 5月の体力テスト実施後、昨年度の全国平均との比較・分析をした上で、課題を踏まえた「場」の設定や指導方法の工夫・改善を行い、11月までに課題に上がった項目の体力テストを行い、2月に全項目の体力テストを行う予定である。	・5月実施後の分析から、顕著になった課題項目を、「朝のかっこチェック(小)」や「課後のやはずタイム(中)」で実施できた。 2月に全項目の体力テストを行う予定である。
<b>取組指標5</b> ○ 小学校では体力パワーアップカード、中学校では体力アップカードを年間通して活用。体力アップ度を数値化することによって、児童生徒のやる気の向上を図る。	・小中学校ともに「カード」を活用して行っている。カード記入時間の確保や担任による状況把握や声かけに課題がある。やる気の向上では、今後、適切な評価をすることによって、個の目標だけでなく学年目標を設定する等の工夫も考えられる。

【総括】

全国平均を上回った項目数は、H27(50%) H28(58%) H29(63%) H30(73%) H31(56%)であり、またC層以上の児童・生徒は、H27年度(84%)→H28年度(87%)→H29年度(91%)→H30年度(91%)→H31年度(88%)であった。小学生では走力・握力に、中学生では、走力・長座体前屈に課題がある。今後、体育専科教員を活用したポイントを絞った体力向上の授業実践や小中連携した一校一実践の継続した取組を継続・発展させていく必要がある。また、生活習慣の改善については、保護者への啓発と連携がさらに必要である。

## 3 平成31年(令和元年)度の取組状況

ア 児童生徒の体力向上に係る市町村教育委員会や学校の行動

- ・体力向上プランを作成し、一校一実践の計画・実践・見直しの取組を進めた。
- ・体育授業研究会へ参加し、教職員の指導力の向上と授業改善を進めた。
- ・体育授業参観や学校毎の取り組みに対する指導・助言を行った。
- ・姫島村体育行事等に積極的な参加要請を行い、地域と連携した体力向上の取組を推進した。
- ・体育専科教員を活用し、授業改善や指導方法の工夫・改善、授業外でも運動の日常化に向け「場」の設定を行った。
- ・養護教諭、学校栄養職員が連携し、食育・眠育指導と共に、望ましい生活習慣の確立をめざした授業・集会を実施した。
- ・PTAと連携した望ましい生活習慣の確立に関する調査や取組(ネットモラル研修会)を行った。

イ 体力向上に関して抱える組織的な課題を解決するための市町村教育委員会や学校の行動

- ・体力アップカードや泳力(学習)カードなど小中9年間の連続性を生かした児童・生徒の体力向上の取組を行った。
- ・学期に1回以上の体育主任等会議を開催するとともに、その役割の強化を小中連携組織の中に位置づけ、組織改善を行った。
- ・小学校で、水泳教室を開催することにより児童の体力向上、教職員の指導力の向上に取り組んだ。
- ・小学校で、毎週水曜日の朝学習の時間に全校児童・全職員で体力づくり運動に取り組んだ。  
1学期(マーカー走等のサーキットトレーニング)2学期(リレー・5分完走)3学期(縄跳び)
- ・中学校で、毎週金曜日の放課後に全校生徒・全教職員で体力づくり運動に取り組んだ。  
年間通じてミニ体力テスト
- ・社会体育指導者等と情報交換の場を設定し、地域と協働した組織的取組につなげるように、体力向上に関する共通理解を図った。

## 4 課題(令和2年度に向けて)

### 1 体力向上をめざすワンランクアップした体育授業改善の徹底

- 1) 教科担任が一人配置(中学校)のため、組織的な授業改善が進みにくい。
- 2) 体力向上プランのさらなる改善、サーキットトレーニングなどの時間設定・内容の工夫・改善の必要がある。
- 3) 小中連携した「強み」や「よさ」の活用の姿が見えにくく状況にある。

### 2 体力向上を支える望ましい生活習慣の確立

- 1) 望ましい生活習慣の確立の必要性を家庭と十分共有できていない。
- 2) 養護教諭と学校栄養職員の専門性を生かし、組織的な取組を土台にした保護者への啓発と連携が必要である。

### 3 体力向上につながる家庭・地域・学校の連携した組織的取組の推進

- 1) 学校と社会体育等の各団体指導者が連携、協働した組織と、児童・生徒の体力向上とのつながりが見えにくい。

## 5 令和2年度の目標及び指標

【目標】

# 小中連携による9年間の連続的指導を強みとした、家庭・地域・学校が連携した組織的な体力向上の取組の推進

達成指標	取組指標
○ 体力・運動能力調査で、A～C層の児童・生徒を90%(H31年度88%)以上にする。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 体育専科教員(小学校)を活用した授業改善と体力向上プランの実施、くにさき地区教育研究会(中学校)を活用した授業改善を推進し、気力・体力・集団力の向上を図る。</li> <li>2 小中連携体力向上部会を年間6回以上開催するとともに、小中の継続的な年間指導計画の活用・実践を推進する。</li> <li>3 「かっこチェックカード」(小学校)「めざせ！バランス朝ご飯パーフェクト2020」(中学校)を活用し、望ましい生活習慣の確立に向け、学期1回は保護者への啓発を図り、連携した取組を推進する。</li> <li>4 小学校では体力パワーアップカード、中学校では体力アップカードを年間通して活用。体力アップ度を数値化することによって、児童生徒のやる気の向上を図る。</li> <li>5 社会体育指導者協議会を年間1回以上開催することにより、地域と協働し、組織的な児童の体力向上を図る。</li> </ol>

## 6 令和2年度の行動計画

- 1 体力向上プランを作成し小中連携した一校一実践の取組のPDCAサイクルをまわす(小・中のサーキットトレーニングの工夫・改善)
  - 2 学校経営の重点目標として、学校・家庭・地域と連携して体力向上に取り組む
  - 3 保健・体育の授業改善を行う
- 1) 体力テストでの課題を踏まえた「場」の設定や指導方法の工夫・改善を盛りこんだワンランクアップした体力向上プランの改善と実施
  - 2) 新学習指導要領に則した授業改善(支援を要する児童生徒への配慮・タブレット端末の活用等)
  - 3) 体育専科を活用した互見授業や研修による教職員の指導力の向上
  - 4) 体育研究会への積極的参加
  - 5) 技能習得やデータ処理におけるICT機器の活用の推進
  - 6) 養護教諭や学校栄養職員と連携した保健授業
- 4 小中連携での9年間の連続性を生かした組織的体力向上の取組
    - 1) 9年間連続活用できる体力アップカードの活用の継続
    - 2) 小中9年間を見越した年間指導計画の改善と計画にもとづいた実践
    - 3) 小中連携体力向上部会の年6回の開催とその取組の検証・改善
  - 5 養護教諭や学校栄養職員と連携した組織的な生活習慣の改善
    - 1) PTAで望ましい生活習慣の確立をめざした研修会や協議の場の設定の継続
    - 2) 「かっこチェックカード」(小)「めざせ！バランス朝ご飯パーフェクト2020」(中)による望ましい生活習慣の確立に向けた取組
  - 6 国東市体育主任会等への参加による体育主任の役割の強化
  - 7 社会体育指導者との情報交換の場の設定
  - 8 授業参観を活用した学校毎の取組に対する指導・助言
  - 9 姫島村体育行事(村民体育大会、さわやかマラソン大会等)や健康づくり活動(早朝ウォーキング等)への積極的参加要請と行事内容の精選

## 7 令和2年度の人的支援の希望内容

- ① 体育専科教員の配置希望  
体育専科教員の「派遣」を希望する(小学校1校 1人)  
県下の専科教員配置校において、めざましい児童・生徒の体力向上が図られている。姫島においても、小学校に体育専科教員が業務配置(H26年度)されて以降、体力向上や授業改善が図られてきた。小学校においてその取組の成果が顕著に表れている。この成果とH31年度の課題を踏まえ、さらなる体力向上をめざすとともに、新指導要領に則した授業改善を図りたい。
- ② 希望に基づいた活用計画  
授業改善と教職員の指導力向上における実践紹介や資料提供  
望ましい生活習慣の確立に向けた実践紹介や資料提供  
体力向上プラン・一校一実践の立案・実施における指導・助言  
小中9年間を見越した指導計画の改善・実施における指導・助言